

甲府市地球温暖化対策実行計画
(区域施策編)
令和元年度年次報告書

令和3年3月
甲 府 市

目次

第1章 甲府市地球温暖化対策実行計画について

1	実行計画の目的	1
2	実行計画の位置づけ	1
3	実行計画の計画期間	1
4	目標年次と削減目標	1
5	対象とする温室効果ガスの種類	1
6	対象とする部門	2
7	重点プロジェクト（6つのアクションプランと適応策）	2
8	関係者の役割	3

第2章 2019（令和元）年度の施策の実施状況

1	重点プロジェクト（6つのアクションプラン）進捗状況	4
2	重点プロジェクト（6つのアクションプランと適応策）取り組み状況	12

第3章 施策の検証

1	実行計画の推進体制	38
2	甲府市地球温暖化対策実行計画推進委員会からの意見	39

【資料】

(1)	甲府市地球温暖化対策実行計画推進委員会委員名簿	41
(2)	平成28年度からの重点プロジェクト（6つのアクションプランと適応策）	42

第 1 章 甲府市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）について

1 実行計画の目的

- 「甲府市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」（以下「実行計画」という。）は、平成20年6月に一部改正された「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、区域の自然的社会的条件に応じて温室効果ガスの排出の抑制等を行うための施策に関する事項を定めたものです。
- 市民、事業者、行政等の多様な主体の参加・連携により、地域特性に応じた地球温暖化対策の取り組みを推進し、まちづくりの基本目標の一つである「自然と都市機能が調和する快適なまちをつくる（環境）」〈第六次甲府市総合計画〉の実現を目指すとともに、地球温暖化対策及び省エネルギー対策に貢献することを目的としています。

2 実行計画の位置づけ

- 実行計画は、平成18年度に策定された「新甲府市地球温暖化対策推進計画」を引き継ぐとともに、策定にあたっては本市の総合的かつ計画的な行政運営の指針である「第六次甲府市総合計画」のもと、本市の環境に配慮した施策を展開していくうえで最も基本となる「第二次甲府市環境基本計画」を上位計画とし、都市整備に関わる施策の体系的指針である「甲府市都市計画マスタープラン」等の関係計画や関係施策との連携を図っています。

3 実行計画の計画期間

- 実行計画の計画期間は、中期2030（R12）年度*、長期2050（R32）年度であり、基準年については、2008（H20）年度としています。

4 目標年次と削減目標

- 実行計画の温室効果ガスの排出削減目標は、基準年の2008（H20）年度比で
中期目標は、2030（R12）年度までに、25%削減*
長期目標は、2050（R32）年度までに、80%削減
としています。

5 対象とする温室効果ガスの種類

- 対象となっている温室効果ガスは、二酸化炭素（CO₂）、メタン（CH₄）、一酸化二窒素（N₂O）、ハイドロフルオロカーボン（HFC）、パーフルオロカーボン（PFC）、六フッ化硫黄（SF₆）です。

※ 「3 実行計画の計画期間」及び「4 目標年次と削減目標」の中期目標について、策定当初は『2020（R2）年度』に設定していました。

6 対象とする部門

- エネルギー起源の温室効果ガスについては、国のエネルギー消費の統計上の分類に合わせて、「産業部門」、「民生家庭部門」、「民生業務部門（民間）」、「民生業務部門（公共）」、「運輸部門」としています。
- 非エネルギー起源の温室効果ガスについては、「工業プロセス分野」、「廃棄物分野」、「農業分野」、「代替フロン等 3 ガス部門」としています。

7 重点プロジェクト（6つのアクションプランと適応策）

・6つのアクションプラン

「2050年の甲府市の姿」と長期目標を念頭におきつつ、2030（R12）年度の中期目標の実現に向けた本市の重点的な取り組み（重点プロジェクト）として、温暖化の原因である温室効果ガスの排出を抑制する「6つのアクションプラン」に取り組めます。

・適応策（P34参照）

6つのアクションプランに取り組んでも温暖化の影響が避けられない場合への対策に取り組めます。

※本実行計画は、東日本大震災直後に策定されたことから、震災以降の社会情勢等の変化を踏まえ、平成27年度に計画の全体的な見直しを行いました。

SDGs（持続可能な開発目標）

持続可能な開発目標（SDGs）とは、ミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載されている2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な社会を実現するための17のゴールと169のターゲットから構成され、気候変動対策とも関係の深い内容となっています。

■気候変動対策と関係の深い目標とターゲット例

目標7.すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する	
ターゲット7.2	2030年までに、世界のエネルギーミックスにおける再生可能エネルギーの割合を大幅に拡大させる。
目標12.持続可能な生産消費形態を確保する	
ターゲット12.8	2030年までに、人々があらゆる場所において、持続可能な開発及び自然と調和したライフスタイルに関する情報と意識を持つようにする。
目標13.気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる	
ターゲット13.2	気候変動対策を国別の政策、戦略及び計画に盛り込む。
ターゲット13.3	気候変動の緩和、適応、影響軽減及び早期警戒に関する教育、啓発、人的能力及び制度機能を改善する。

8 関係者の役割

市民

- 市民一人ひとりが、日々の暮らしにおいてエネルギーを大量に消費していることを自覚し、太陽光発電などの再生可能エネルギーの導入や身近なところから実践する省エネルギー行動、地球環境と調和したライフスタイルへの転換など、温室効果ガス排出量削減のための行動に積極的に取り組む役割を担います。

事業者

- 地域社会の構成員として、自らの企業活動と環境・エネルギー問題との関わりを十分に理解し、これらに留意した企業理念や行動指針を確立するなど、企業市民として地域社会や地域環境の保全に積極的に取り組む役割を担います。

学識経験者

- 地球温暖化やエネルギー関連の分野の知識を活かし、効果的かつ確実な地球温暖化対策を甲府市全域で取り組めるように助言を行う役割を担います。

N P O

- 各団体の知識や経験、専門性を活かし、日々の暮らしにおいて、地球温暖化対策や省エネルギーの情報提供、再生可能エネルギー施設の設置(市民共同発電等)、普及啓発・環境教育の実施など、市民及び事業者の自発的な取り組みを支援する役割を担います。また、地球温暖化対策に取り組むリーダー的存在となり、市民・事業者・行政との連携の橋渡しの役割を担います。

甲府市

- 積極的に省エネルギー行動に取り組むとともに、情報提供・相談窓口など、地球温暖化及びエネルギーに関する広報活動、情報提供を行う役割を担います。さらに、生涯学習や子供たちの環境学習などの場の創出に努め、市民の知識を深める機会を提供する役割を担います。
- また、率先して公共施設への再生可能エネルギー導入を行うとともに、市民・事業者による再生可能エネルギー導入に対する支援を行う役割を担います。

第2章 2019（令和元）年度の施策の実施状況

1. 重点プロジェクト（6つのアクションプラン）の進捗状況

■目標値が定量化されている取り組みの実績については数値、進捗率については％で表し、また、目標値が定量化されていない取り組みの実績については「実施」「未実施」とし、進捗率については「実施：◎」「未実施：×」「一部実施：△」で表しました。

なお、甲府市地球温暖化対策実行計画は平成27年度に見直しを行い、これに伴い目標年を2030（R12）年度とし、新たな取り組みを平成28年度から行っています。

アクションプラン1 環境教育・温暖化防止の啓発活動の推進			
《人づくり・地域づくり・協働の推進》			
<p>（1）環境教育の推進について、「①幼児・学校教育における環境教育の推進」や、「②地域・家庭における環境教育の推進」では、「太陽エネルギー体験教室」や各自治会及び各種団体等を対象とした出前講座などを実施し、目標を達成しています。また、「③甲府市リサイクルプラザの活用」では、目標値はありませんが、環境教室や講座を開催し、環境教育の推進を図りました。</p> <p>次に（2）多様な担い手による地域の温暖化防止活動の推進（産学官民協働の推進）について、「①地域の温暖化防止活動等の推進」では、地域で活動する団体と協働・連携によるイベント等を開催し、目標値を達成しています。また、こうふのecoを活用し市域の温暖化対策の情報発信（甲府市環境コミュニティの活性化）に努めました。「②地域の人材育成」では、山梨県に地球温暖化防止活動員を推薦することにより、地域の人材育成を図りました。</p>			
取組	目標値	令和元年度	
		実績	進捗率・達成率
（1）環境教育の推進			
①幼児・学校教育における環境教育の推進	環境教育事業への参加児童数		
	単年度目標値	1,600人/年	2,191人 136.9%
②地域・家庭における環境教育の推進	地球温暖化防止関係の出前講座や講習会・イベント等の参加者数		
	単年度目標値	100人/年	208人 208.0%

取組	目標値	令和元年度	
		実績	進捗率・達成率
③甲府市リサイクルプラザの活用	甲府市リサイクルプラザを活用した環境教育の推進		
	【目標値なし】	実施	◎
(2) 多様な担い手による地域の温暖化防止活動の推進 (産学官民協働の推進)			
①地域の温暖化防止活動等の推進	地域で活動する団体と協働・連携によるイベント等の開催		
	単年度目標値	5回/年	5回 100.0%
	こうふの eco の活用による地域の温暖化対策の情報発信 (甲府市環境コミュニティの活性化)		
	【目標値なし】	実施	◎
②地域の人材育成	地域コーディネーター数 (単年度目標値なし)		
	2030(R12)年度	延べ 100人	延べ 49人 49.0%

アクションプラン2 再生可能エネルギーの導入・普及促進

《エネルギーの地産地消・地域エネルギー自給システムの構築》

(1) 太陽エネルギーの活用について、「①太陽光発電システムの導入促進」では、目標を達成できませんでした。これは固定価格買取制度 (改正 FIT 法) の買取価格低下により導入台数が減少し、横ばいで推移している状況です。また、「②市民共同発電の推進」や「③太陽熱エネルギーの活用」では、目標値はありませんが、それぞれに設備が導入されており実施しています。

次に (2) バイオマスエネルギーの活用について、「①バイオマスエネルギーの活用と普及促進」では、「甲府市クリーンエネルギー機器普及助成金制度」の活用により普及促進が図られています。果樹剪定枝の活用においては焼却工場移転に伴い、モデル地区によるぶどうの剪定枝のエネルギー活用事業は、平成 28 年度で完了しています。

(3) 地中熱・小水力等再生可能エネルギーの活用、「①地中熱・小水力等再生可能エネルギーの活用」では、目標値はありませんが、山宮減圧槽に設置した小水力発電が稼働しています。

取組	目標値	令和元年度	
		実績	進捗率・達成率
(1) 太陽エネルギーの活用			
①太陽光発電システムの導入促進	住宅用太陽光発電システムの導入		
	単年度目標値	1,100t-CO ₂ /年	272.17t-CO ₂ 24.7%
②市民共同発電の推進	市民、NPO等との連携による推進・市民共同発電設備導入	(1件)	
	【目標値なし】	実施	◎
③太陽熱エネルギーの活用	太陽熱エネルギーの活用の推進・太陽熱エネルギー設備の導入		
	【目標値なし】	実施	◎
(2) バイオマスエネルギーの活用			
①バイオマスエネルギーの活用と普及促進	木質バイオエネルギーの活用推進、木質ボイラー・木質ペレットストーブ等の普及促進、バイオマス資源のエネルギー活用の推進		
	【目標値なし】	実施	◎
	果樹剪定枝利用量 平成29年度事業終了		
	単年度目標値	100t/年	— —
(3) 地中熱・小水力等再生可能エネルギーの活用			
①地中熱・小水力等再生可能エネルギーの活用と普及促進	地中熱・小水力等再生可能エネルギーの活用と普及促進・設備の導入		
	【目標値なし】	実施	◎

アクションプラン3 潤いある森林の整備

《森林整備》

(1) 潤いと光あふれる森づくり(森林整備)について、「①森林整備の推進」では、甲府市森林計画等の進行管理が適正に行われており、目標を達成しています。また、「②県産材等木材の利用促進」や「③森林の保護、育成に関する意識の醸成」では、目標値はありませんが、水源林植樹の集いや農林業まつりなどを開催しました。

取組	目標値	令和元年度	
		実績	進捗率・達成率
(1) 潤いと光あふれる森づくり(森林整備)			
①森林整備の推進	森林(市有林、民有林)整備の推進		
	単年度目標値	21,500 t-CO ₂ /年	21,500t-CO ₂ 100.0%
②県産材等木材の利用促進	県産材等木材の建築物等への利用促進		
	【目標値なし】	実施	◎
③森林の保護、育成に関する意識の醸成	森林環境保全イベント等の開催		
	【目標値なし】	実施	◎

アクションプラン4 地球にやさしいライフスタイルと省エネ行動

《環境に配慮したライフスタイルと低炭素型の移動への転換》

(1) 省エネ行動の普及促進について、「①省エネ行動の普及促進」では、目標値はありませんが、広報こうふ・こうふのecoなどで情報提供をしています。また、「②緑のカーテンづくりの推進」では、「緑のカーテンづくり」セミナーを開催し、目標を達成しています。

次に(2)低炭素型の移動(スマートムーブ)の推進について、「①エコドライブの推進」では、目標値に達していませんが、安全運転研修で「エコドライブについて」の説明を行い、その後の伝達研修により多数に周知しています。また、「②公共交通機関の利用促進」では、目標値はありませんが、交通手段に公共交通の利用を促す「こうふエコ通勤デー」の実施や県主催のエコ通勤トライアルウィークへの参加、公共交通を考える機会の創出として、山梨県、山梨運輸支局、交通事業者との協働により「やまなし公共交通フェスティバル」を開催しています。さらに、公共交通の利便性向上のため、サイクル・アンド・ライドの推進では、新たに駐輪所を3施設新設し、公共交通利用者の利便性の向上を

図りました。エコ通勤優良事業所は延べ3ヶ所の事業所が認証・登録されています。「③自転車による環境にやさしい移動の推進」では、目標値はありませんが、(一社)甲府市観光協会が実施する「レンタサイクル甲府」事業を支援し、観光地を環境にやさしく気軽に周遊できる、電動自転車を貸出しているほか、こうふのecoにおいても情報提供を行っており普及啓発に努めています。

取組	目標値	令和元年度		
		実績	進捗率・達成率	
(1) 省エネ行動の普及促進				
①省エネ行動の普及促進	省エネ意識の高揚、醸成及び省エネ機器等の情報の提供、発信エネルギーの見える化による省エネ行動の実践 COOL CHOICE の普及促進 【目標値なし】	実施	◎	
	②緑のカーテンづくりの推進	緑のカーテンづくりイベント等参加者数 単年度目標値	100人/年 99人	99.0%
(2) 低炭素型の移動(スマートムーブ)の推進				
①エコドライブの推進	エコドライブの普及促進講習会等参加者数 単年度目標値	100人/年 80人	80.0%	
	②公共交通機関の利用促進	甲府市公共交通体系基本構想の推進による公共交通機関の利便性の向上 【目標値なし】	実施	◎
エコ通勤優良事業所数(単年度目標値なし)		2030(R12)年度 延べ 15ヶ所	延べ 3ヶ所	20.0%
③自転車による環境にやさしい移動の推進		レンタサイクル等の推進及び電動アシスト自転車等の普及促進 【目標値なし】	実施	◎

アクションプラン5 賢く、快適な低炭素型都市構造への転換

《環境に配慮した持続可能な都市への転換・都市緑化》

(1) 建物・機器による省エネの推進について、「①省エネ住宅・施設等の普及促進」では、長期優良住宅を242件認定し、目標を達成しています。また、「②省エネ機器の普及促進」では、目標値はありませんが、こふの eco での情報提供等、普及に努めています。さらに、「③LED照明の普及促進」では、防犯街路灯・商店街街路灯設置への助成や都市公園照明等の改修工事を実施しています。また、平成30年度から令和元年度の2年間で、スポーツ施設や学校の屋外グラウンド夜間照明のLED化に取り組んでいます。

次に(2) 緑あふれるまちづくり(都市緑化・ヒートアイランド対策の推進)について、「①都市緑化の推進」や「②農地の活用」、「③建物、道路等のヒートアイランド対策の推進」では、目標値はありませんが、「花いっぱい・緑いっぱい運動」の地域緑化及び「緑化教室の開催」による家庭緑化の推進や荒廃した農地の再生整備、透水性舗装による改良工事などを実施しています。

(3) クリーンエネルギー自動車(電気自動車、燃料電池車、プラグインハイブリッド車等)の普及促進について、「①クリーンエネルギー自動車の普及促進及び導入検討」では、目標値はありませんが、リサイクルフェアにおいてクリーンエネルギー自動車を展示し普及啓発を行なうとともに、庁用車両にクリーンエネルギー自動車を16台導入しています。「②充電設備の整備、水素ステーションの整備」では、市内に急速充電器10ヶ所、普通充電器32ヶ所が設置されており、電気自動車の普及に向け、今後も充電設備の増加が見込まれます。また、水素ステーションの整備では、市内で1ヶ所設置されています。

取組	目標値	令和元年度	
		実績	進捗率・達成率
(1) 建物・機器による省エネの推進			
①省エネ住宅・施設等の普及促進	省エネ住宅の普及による温室効果ガス削減量		
	単年度目標値	100t-CO ₂ /年	133.10t-CO ₂ 133.1%
②省エネ機器の普及促進	トップランナー制度の情報提供省エネ機器の導入によるCO ₂ 削減の推進		
	【目標値なし】	実施	◎

取組	目標値	令和元年度	
		実績	進捗率・達成率
③LED照明の普及促進	公共施設等への率先的なLED照明の導入による普及促進 (単年度目標値なし) 令和元年度：241.18t-CO ₂ (参考)		
	2030(R12)年度 延べ 4,500t-CO ₂ (H24年度から)	延べ 860.31t-CO ₂	19.1%
(2) 緑あふれるまちづくり(都市緑化・ヒートアイランド対策の推進)			
①都市緑化の推進	都市緑化の推進(緑化植樹イベントの開催)道路・建物のヒートアイランド対策の推進 【目標値なし】	実施	◎
	耕作放棄地の有効活用 【目標値なし】	実施	◎
③建物、道路等のヒートアイランド対策の推進	道路・建物のヒートアイランド対策の推進 (舗装面積 700.0 m ²) 【目標値なし】	実施	◎
(3) クリーンエネルギー自動車(電気自動車、燃料電池車、プラグインハイブリッド車等)の普及促進			
①クリーンエネルギー自動車の普及促進及び導入検討	クリーンエネルギー自動車の普及のための情報提供及び導入促進 【目標値なし】	実施	◎
	充電設備の整備 (単年度目標値なし)		
②充電設備の整備、水素ステーションの整備	2030(R12)年度 急速充電器： 市内 20ヶ所	急速充電器： 10ヶ所	50.0%
	普通充電器： 市内 50ヶ所	普通充電器： 32ヶ所	64.0%

アクションプラン6 持続可能な循環型社会の構築

《廃棄物の再資源化と環境負荷の低減》

(1) 廃棄物の3R (Reduce (発生抑制) Reuse (再利用) Recycle (再資源化))の推進について、「①分別回収によるごみ、生ごみの減量化、再資源化の推進」では、生ごみ処理機等の購入補助金制度について、広報等により普及活動を実施しましたが、目標値に達していません。また、「②資源物排出の利便性の向上」では、目標値はありませんが、甲府市自治会連合会と連携を図るなかで24時間ステーションの設置について協議しましたが、設置までに至りませんでした。「③バイオマス資源の循環による活用」においても、目標値はありませんが、EMボカシ・しんぶんコンポストキットの無料配布や廃食油の回収などを実施しています。

取組	目標値	令和元年度	
		実績	進捗率・達成率
(1) 廃棄物の3R (Reduce (発生抑制) Reuse (再利用) Recycle (再資源化))の推進			
①分別回収によるごみ、生ごみの減量化、再資源化の推進	生活系家庭ごみの減量、プラスチック製容器包装の分別回収		
	【目標値なし】	実施	◎
	生ごみ処理機等の普及 単年度目標値 140件/年	66件	47.1%
②資源物排出の利便性の向上	資源物24時間ステーションを段階的に設置		
	【目標値なし】	一部実施	△
③バイオマス資源の循環による活用	バイオマス資源の循環による活用		
	【目標値なし】	実施	◎

アクションプラン1

環境教育・温暖化防止の啓発活動の推進

《人づくり・地域づくり・協働の推進》

イチオシの取り組み 

●ごみへらし隊による地域における環境教育の推進

【甲府市】

《内容》

市民に対する啓発活動を強化することを目的に、平成16年4月から指導業務専門職員による「ごみへらし隊」を編成し、エコ工作や出前講座、学習会を幼稚園・保育所から大学までの教育機関や自治会関係など若年層から一般まで広い層を対象に実施し、ごみ減量と資源リサイクルに対する市民意識の向上を図っています。

《ポイント》

ごみの減量化や資源化等は市民一人ひとりの協力が必要です。そのため、自治会や各種団体を対象とした出前講座（ごみへらし専科）により資源物の分別排出、ごみの水切りの徹底などの周知や啓発を行っています。



（1）環境教育の推進

《取り組みの内容》

① 幼児・学校教育における環境教育の推進

＜本市の取り組み＞

- ◆市内小中学校における環境教育の推進 :実施数 36 校
- ◆市内小中学校の学校林活動への協力(森林体験) :実施数 5 校、参加者数 625 人
- ◆出前講座の開催(森林と水) :実施数 2 回、参加児童数 55 人
- ◆放課後児童クラブ等における環境学習講演会の実施 :実施 10 校 参加者数 418 人
- ◆保育園・幼稚園児を対象としたペープサートの上演
:実施数 16 園、参加園児数 1,062 人(山梨県立大学「おはなしクラブ」の学生との協働)
- ◆市内小学生を対象とした「太陽エネルギー・自然エネルギー体験教室」
:実施数 5 校、参加児童数 167 人(NPO 法人みどりの学校との協働)
- ◆環境教育副読本『環境にやさしい街 甲府』の作成・配布 :市内小学校の4年生に配布 1,900 冊
- ◆ごみへらし隊による保育園・幼稚園・小学生を対象とした環境教育講座の開催
:開催数 62 回、参加者数 2,958 人

<市民、事業者、NPO の取り組み>

【山梨交通株式会社】

- ◆小学校低学年・支援学校生を対象とした「出前授業」乗車体験
:参加数 4 校、参加児童・生徒数 253 人(全県 8 校 480 人)

【甲府市公立小中学校長会】

- ◆目指す「2050 年の甲府市の姿」を多様な方法により、あらゆる教育現場に活かし、児童・生徒に未来イメージ化を図る :実施数 27 校
- ◆循環型エネルギー施設・設備の設置によりミニスマートライフ、省エネを日常的に体験させる
:実施数 29 校
- ◆教育課程における環境教育の中で、甲府市の重点プロジェクトを学ぶ時間を位置づける
:実施数 26 校(1、2 年は生活科、3 年は総合、4 年は社会、総合、5、6 年は理科・総合、中学は総合)
- ◆児童会活動の中で、環境問題に取り組む活動の実施
エコキャップ集め、ごみの分別、牛乳パック回収、ごみ拾い愛町奉仕作業等 :実施数 30 校
- ◆環境教育の継続実施と見直し :実施数 29 校

【NPO 法人みどりの学校】

- ◆幼稚園・保育所・学校等における環境学習会の開催 :開催数 5 回、参加者数 167 人

【山梨県地球温暖化防止活動推進センター】

- ◆エコ×エネ子どもキャンプ(やまなし環境財団委託事業)の実施
森の中で、様々な体験を通して、地球温暖化防止の必要性和大切さを学ぶ
(山梨県内の小学 4 年生～中学 3 年生対象) :実施数 1 回、参加者数 15 人

②地域・家庭における環境教育の推進

<本市の取り組み>

- ◆甲府市地球温暖化対策地域協議会との協働によるセミナーやイベントの開催
:開催数 4 回、参加者数 約 6,513 人
- ◆ごみへらし隊による各自治会や各種団体等を対象とした、出前講座(ごみへらしま専科)の開催
:開催数 50 回、参加者数 3,174 人
- ◆リサイクルフェアにおいて「もってけ市」の開催 :参加者数 350 人

<市民、事業者、NPO の取り組み>

【甲府商工会議所】

- ◆環境問題に取り組む「人づくり」と環境と経済を両立させた「持続可能な社会」の促進を目指す、「eco 検定」の実施 :実施数 2 回、受験者数 126 人

【甲府市公立小中学校長会】

- ◆事業者や NPO と連携し、専門性を活かした出前授業や体験学習の充実
:実施数 16 校
- ◆家庭や地域との連携による、荒川河川敷清掃、家庭でのクリーン作戦、地域の清掃活動の実施
:実施数 29 校

【生活協同組合パルシステム山梨】

- ◆環境関連出前講座の実施 「手漉きハガキ」、「自然派！お掃除」
:開催数 9 回、参加者数 204 人(全県 24 回開催、参加者数 733 人)

【NPO 法人みどりの学校】

- ◆地域における環境学習会の実施
工作教室等をはじめとするワークショップや、太陽エネルギー等の自然エネルギー体験学習会を開催
:開催数 10 回、参加者数 536 人

【甲府市地球温暖化対策地域協議会】

- ◆甲府市環境教育プログラムへの協働
「緑のカーテン」づくりセミナー、小水力発電施設見学会、地球温暖化に関する講演会を協働で実施
:実施数 3 回、参加者数 194 人
- ◆環境教育に関するイベントの実施
夏休みに親子で参加できるエコ工作教室を実施 :実施数 1 回 参加者数 25 人

③ 甲府市リサイクルプラザの活用

＜本市の取り組み＞

- ◆リサイクルプラザの利用の推進
環境教育教室や講座の開催
:開催数 11 回、参加者数 169 人 リサイクルプラザ総利用者数 71,010 人

＜市民、事業者、NPO の取り組み＞

【NPO 法人みどりの学校】

- ◆リサイクルプラザを活用しての啓発活動
ミニソーラー工作教室等をはじめとするワークショップや自然エネルギー体験学習を開催
:開催数 5 回、参加者数 203 人

(2) 多様な担い手による地域の温暖化防止活動の推進(産学官民協働の推進)

《取り組みの内容》

① 地域の温暖化防止活動等の推進

＜本市の取り組み＞

- ◆事業者・NPO等との協働による環境教育プログラムの実施
:開催数 3 回、参加者数 145 名
- ◆甲府市地球温暖化対策地域協議会との協働で、「緑のカーテン」づくりセミナー、「地球温暖化防止推進セミナー」の開催 :実施数 2 回、参加者数 188 名
- ◆甲府市環境コミュニティの活性化
温暖化対策情報サイト「こうふの eco」において、省エネ行動についての情報提供
:ホームページアクセス件数 2,921 件(庁内からのアクセスは除く)

<市民、事業者、NPO の取り組み>

【NPO 法人みどりの学校】

- ◆甲府市地球温暖化対策地域協議会他、地域の団体等との協働による地球温暖化防止の推進
ヴァンフォーレ甲府の試合前の小瀬エコブースにおいて、甲府市地球温暖化対策地域協議会との協働による緑のカーテンの啓発活動 :開催数 1 回、参加者数 50 人

【甲府市地球温暖化対策地域協議会】

- ◆山梨県内の環境関連団体等との連携の拡大 :参加数 2 回
「広がれエコスタジアム小瀬」実行委員会と連携し、「家庭における省エネ」等の普及啓発を実施
「第 21 回ライトダウン山梨 2019 空に星、地に山、人に未来」の開催協力

【山梨県地球温暖化防止活動推進センター】

- ◆例年実施している、山梨県環境教育ミーティング及び山梨県内の地域協議会同士の情報交換会は新型コロナウイルスの影響で中止となった。

② 地域の人材育成

<本市の取り組み>

- ◆山梨県へ地球温暖化防止活動員に推薦することによる人材育成
:コーディネーター数 延べ 49 人(令和元年度 19 人)

<市民、事業者、NPO の取り組み>

【生活協同組合パルシステム山梨】

- ◆環境省の家庭エコ診断制度「うちエコ診断士」の登録 :登録数 1 名

【NPO 法人みどりの学校】

- ◆地域の他団体との協働による人材育成
太陽光発電所ネットワークと協働で、FIT 終了後の太陽光発電の動向についての学習会を開催
:開催数 1 回、参加者数 18 人

【山梨県地球温暖化防止活動推進センター】

- ◆地球温暖化防止活動推進員及び関連活動を実施している人を対象とした研修会の開催
:開催数 2 回、参加者数 109 人

アクションプラン 1 の課題

<本市の課題>

- ◆学校における教育課程、地域や家庭における環境教育に、SDGs(持続可能な開発目標)の項目を盛り込むことにより、地球温暖化対策の観点から将来世代に繋げることのできる取組へ拡大していく必要がある。

◆学校における環境教育については、授業の一環として温暖化防止の啓発活動が推進できるが、地域や家庭における環境教育の推進としての取組である、ごみへらし隊による出前講座や地球温暖化防止に関するセミナーへの参加は、個人の意思によることが大きいので、自主的な参加を促すような取組も必要である。

<市民、事業者、NPOの課題>

◆市が取り組む環境教育や地球温暖化防止活動の推進に、甲府市・事業者・NPO等が積極的に協力し携わっていくことが重要である。

アクションプラン2

再生可能エネルギーの導入・普及促進

《エネルギーの地産地消・地域エネルギー自給システムの構築》

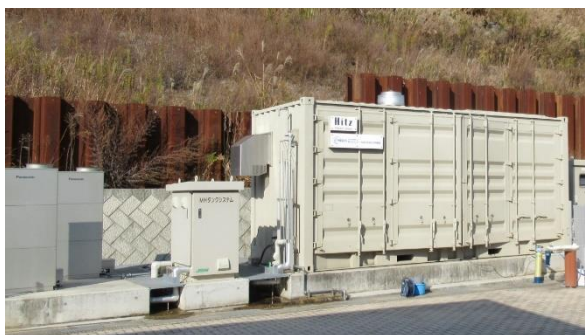
イチオシの取り組み 

● P2Gシステムの技術開発及び実証研究への参画

【東京電力パワーグリッド(株)山梨総支社】

《内容》

平成28年11月に、山梨県、東レ(株)、(株)東光高岳、東京電力ホールディングス(株)は相互に連携し、CO₂フリーの水素エネルギー社会の実現に向けたP2Gシステムの技術開発及び実証実験を推進するため協定を締結し、甲府市の米倉山太陽光発電所の太陽光発電による電力により、年間45万Nm³の水素の製造、貯蔵及び利用するP2Gシステムの確立を目指して将来の可能性や技術課題の明確化等を含めた基礎的な検討に着手し、技術開発及び実証研究を実施しています。



実証実験設備

《ポイント》

P2Gシステムとは再生可能エネルギーの不安定な電力から水素を製造し、貯蔵及び利用するシステムで、長期間の貯蔵や輸送が可能な水素の特性を活かして、天候の変化によって変動する再生可能エネルギーの発電量の安定化に資する技術として期待されているもので、製造段階からCO₂が発生しないことから環境負荷の低減に大きな効果が見込まれています。

(1) 太陽エネルギーの活用

《取り組みの内容》

① 太陽光発電システムの導入促進

<本市の取り組み>

- ◆ 甲府市地球温暖化対策導入促進助成金制度(令和元年6月30日廃止)
住宅用太陽光発電システム導入 : 助成件数 65 件、総出力量 321.72kW
- ◆ 甲府市クリーンエネルギー機器普及助成金制度(令和元年7月1日施行)
住宅用蓄電池設置 : 助成件数 54 件
住宅用太陽光発電システム及び蓄電池設置 : 助成件数 45 件、総出力量 267.40kW

<市民、事業者、NPO の取り組み>

【国母工業団地工業会】

- ◆太陽光発電システムの使用【パイオニア・マイクロ・テクノロジー(株)、パナソニック ファクトリーソリューションズ(株)、横河マニュファクチャリング(株)、(株)サンニチ印刷、(株)東日製作所】
:パネル枚数 3,336 枚、発電量合計 1,198,109kW

【東京電力パワーグリッド(株)山梨総支社】

- ◆P2G(Power to Gas)システムの技術開発及び実証研究への参画
令和2年度の実証開始に向けて、令和元年度は主に設備工事を実施
- ◆連系不可送配電設備の解消
送配電設備容量不足による連系不可設備の改修工事の実施 :計画進捗率 100%

【NPO 法人みどりの学校】

- ◆各種イベント等で住宅用太陽光発電の啓発活動
太陽光発電システム導入やエネルギーの賢い使い方のノウハウの提供
:実施数 10 回、参加者数 536 人

【パルシステム山梨】

- ◆FIT(再生可能エネルギー)電力中心の「パルシステムでんき」の普及
:契約数 甲府市内 210 件(全県 1,104 件)

② 市民共同発電の推進

<本市の取り組み>

- ◆「甲府市市民立共同発電事業助成金制度」により、NPO 等が実施する自然エネルギー発電設備を設置
運営した費用の一部を助成し、CO₂削減の推進
: 1 件「山城地区市民立共同発電所」 年間発電量 7,004kWh、CO₂削減量 3.24t-CO₂

<市民、事業者、NPO の取り組み>

【NPO 法人みどりの学校】

- ◆市民立共同発電所の取り組みについての情報提供
甲府市南部市民センターの「山城地区市民立共同発電所」を活かした学習会の開催等
:開催数 7 回、参加者数 323 人

【甲府市地球温暖化対策地域協議会】

- ◆光の森こども園太陽光発電施設の活用 :年間発電量 11,063kWh、CO₂削減量 5.11t-CO₂
- ◆太陽光発電、太陽光熱利用の新規共同施設の建設に関する検討 :検討会開催数 1 回

③ 太陽熱エネルギーの活用

<本市の取り組み>

- ◆甲府市地球温暖化対策導入促進助成金制度(令和元年6月30日廃止)
:高効率給湯器等への助成件数 103 件
- ◆温暖化対策情報サイト「こうふの eco」において、太陽熱エネルギー活用についての情報提供

<市民、事業者、NPO の取り組み>

【NPO 法人みどりの学校】

◆太陽熱温水器の有効性についてのノウハウの提供

各種学習会・イベントにて太陽熱温水器の利用促進のための情報提供:実施数 14 回、参加者数 611 人

◆市民共同の太陽エネルギーの活用

公共施設への市民立共同熱供給設備装置設置に向けた、調査研究を行った。

【甲府市地球温暖化対策地域協議会】

◆太陽熱エネルギー利用(ソーラークッカー)の促進

エコ工作教室の開催、環境リサイクルフェアで太陽熱エネルギーの利用に関するブースの出展
:来場者数 101 人

(2) バイオマスエネルギーの活用

《取り組みの内容》

① バイオマスエネルギーの活用と普及促進

<本市の取り組み>

◆汚泥焼却炉における重油(化石燃料)を代替エネルギー(木質系補助燃料[ペレット])に転換
:代替エネルギー転換率 57.5%(ペレット使用量 102.61t)

◆甲府市地球温暖化対策導入促進助成金制度(令和元年 6 月 30 日廃止)

木質ペレットストーブ導入 :助成件数 2 件

◆甲府市クリーンエネルギー機器普及助成金制度(令和元年 7 月 1 日施行)

木質ペレットストーブ導入 :助成件数 7 件

◆バイオマス資源の活用

木質バイオマスの事業化は需要量や費用対効果を考慮すると難しい状況であるため、他市等の動向を注視する中で情報収集に努めた。

◆果樹剪定枝等の活用

焼却工場の移転に伴い、ぶどうの剪定枝のエネルギー活用が出来なくなったため特別収集は終了。
なお、モデル地区において、ぶどうの剪定枝の持込受付を実施し 52 名の利用があった。

<市民、事業者、NPO の取り組み>

【生活協同組合パルシステム山梨】

◆木質ペレットストーブの使用 :1 台(既存)継続使用(一宮センター)

【NPO 法人みどりの学校】

◆各種学習会、イベント等で木質バイオマス利用の啓発活動 :実施数 14 回、参加者数 611 人

【やまなし木質バイオマス協議会】

◆木質バイオマスエネルギー利用施設見学会の開催(事業者向け) :参加者数 40 人

◆木質バイオマスエネルギー利活用の相談窓口 :実施件数 4 件

◆木質バイオマスストーブの普及啓発

森林のフェスティバル、環境リサイクルフェアで展示や実演による木質バイオマス利用のPR活動
:参加者数 約 20,000 人

◆未利用(切捨て間伐材、市場等の端材、製作所のおがくず)な木質資源の活用提案 :提案件数 1 件

(3) 地中熱・小水力等再生可能エネルギーの活用

《取り組みの内容》

①地中熱・小水力等再生可能エネルギーの活用と普及促進

<本市の取り組み>

◆上下水道における再生可能エネルギーの利活用として、山宮減圧槽(小水力発電)の運営

:CO₂削減量 242.24t-CO₂削減(令和元年度総発電量 524,320kwh)

◆上下水道施設における再生可能エネルギーの利活用検討

「甲府市上下水道事業経営戦略」の中で再生可能エネルギーの利活用の推進に向け、関係機関との協議を進めた。また、事業推進のための情報収集に努めた。

<市民、事業者、NPO の取り組み>

【東京電力】

◆水力発電所の高効率発電機への更新 :計画進捗率 100%

早川第三発電所については令和2年7月竣工、早川第一発電所については、令和2年10月竣工。

【甲府市地球温暖化対策地域協議会】

◆小水力発電施設(カワセミ1号)の見学会等による普及啓発 :開催数 1 回

アクションプラン2の課題

<本市の課題>

◆蓄電池は太陽光発電システムとの併用により、太陽光で発電した電気を蓄えておけるため、夜間などの電気の購入が控えられることから、温室効果ガスの削減を図る有効な手段である。また、近年、自然災害が多数発生する中、電力会社からの電気の供給が途絶えた場合の電源確保が必要になることから、電気の自家消費や災害時の電源確保という観点から導入の促進を図っていくことが必要である。

<市民・事業者・NPOの課題>

【東京電力パワーグリッド(株)】

◆市や事業者等が保有する太陽光発電設備の設置施設にEV急速充電器等の設置を検討していくなど、市や事業者等の協働による脱炭素社会へ向けた取組が必要である。

アクションプラン3

潤いある森林の整備

《森林整備》

イチオシの取り組み 

●「水源林植樹の集い」【甲府市】

《内容》

市民の水源林は、甲府市の秩父山系の主峰金峰山の南麓に広がる森林で、甲府市水道水源保護地域とされ「緑のダム」として重要な役割を担っています。この水源林を次世代に残すため、広葉樹の植林を行っています。



《ポイント》

本市の豊かな森林資源は、水源かん養、自然災害防止、生物多様性の保全や地球温暖化の緩和など公益的機能を有しており、この恵まれた水源環境を継承していくための取組として、市民との協働による水源林づくりを行っています。

(1) 潤いと光あふれる森づくり（森林整備）

《取り組みの内容》

① 森林整備の推進

<本市の取り組み>

- ◆甲府市有林(人工林)の間伐事業 : 間伐面積 9.54ha
- ◆民有林の人工林整備の実施 : 下刈面積 6.49ha
- ◆森林病虫害防除事業の実施
: くん蒸処理数量 484.61 m³、薬剤処理数量 29.03 m³、枯損木処理数量 34.00 m³
- ◆間伐材の有効活用の促進 : 販売数量 176.86 m³

<市民、事業者、NPO の取り組み>

【中央森林組合】

- ◆間伐整備(甲府市の民有林で間伐材の搬出) : 搬出材積 800 m³
- ◆民有林の下草刈り : 下草刈り面積 6.49ha

◆里山林整備

荒廃した里山など間伐整備により、健全な森林に再生 :再生面積 14.19ha

②県産材等木材の利用促進

<本市の取り組み>

- ◆公共施設への県産材等木材の利用について、温暖化対策情報サイト「こうふの eco」で紹介

③森林の保護、育成に関する意識の醸成

<本市の取り組み>

- ◆「水源林植樹の集い」の開催、奥御岳市有林内での植樹活動
:参加者数 391 人、植栽面積 0.30ha、植栽本数 900 本
- ◆森林を利用した環境教育の推進
自然とふれあいながら間伐体験やネイチャーゲームを体験する環境教育の実施
:参加団体 2 団体、参加者数 79 人
- ◆農林業まつり(木工体験コーナー)の開催
親子で木工体験を通じて木の温かみや大切さを学ぶ :参加者数 50 人

<市民、事業者、NPO の取り組み>

【やまなし木質バイオマス協議会】

- ◆地域の間伐材を利用した薪づくり
森林組合と協力して、用材として使用できない工場の間伐木を利用した薪づくりイベントの開催
:参加者数 33 人

【甲府市地球温暖化対策地域協議会】

- ◆森林整備に関するイベント「水源林植樹の集い」に参加 :参加者 3 人

アクションプラン 3 の課題

<本市の課題>

- ◆バイオマス資源の活用については、他自治体の取組の情報を収集し、資源の有効活用について調査していく。

<市民・事業者・NPOの課題>

【中央森林組合】

- ◆民有林の整備において、森林所有者の高齢化などにより現地の立ち合いができない、相続により森林は保有しているが保有する山がどこにあるかわからないなど、境界が不明確で整備が難しい森林もある。

アクションプラン4

地球にやさしいライフスタイルと省エネ行動

《環境に配慮したライフスタイルと低炭素型の移動への転換》

イチオシの取り組み 

●やまなしバスコンシェルジュの運営にバス事業者として参画
【山梨交通(株)・山梨県バス協会】

《内容》

「やまなしバスコンシェルジュ」は、路線バスの利便性を高め利用促進を図るため、産学官連携により作成され、バスロケーションシステムと観光情報が連動した、山梨全域を網羅する山梨県バス総合案内システムです。



《ポイント》

山梨県内で運行するバス車両に設置したGPS端末から位置情報を取得し、バスの運行経路や接近情報を提供するとともに、停留所の位置や時刻表に加えて停留所周辺の観光情報も網羅し、これらをパソコンや携帯端末(スマートフォン・タブレットなど)に提供しています。また、甲府駅南口バスターミナルではデジタルサイネージ(電子看板)に時刻表やバスの走行位置などの情報が表示されます。

本システムにより、バス利用者の利便性が向上することで公共交通の利用促進が図られています。

【パソコン】

<https://busmaps.jp/yamanashi/>

【携帯端末】

<https://m.busmaps.jp/yamanashi/modules/BusMap2/smartphone/>

(1) 省エネ行動の普及促進

《取り組みの内容》

①省エネ行動の普及促進

<本市の取り組み>

- ◆広報こうふ「スマートライフ通信」の掲載や温暖化対策情報サイト「こうふのeco」において情報提供
: 広報こうふ掲載数 6回(隔月)

<市民、事業者、NPO の取り組み>

【国母工業団地工業会】

- ◆「生産ラインにおけるエネルギー無駄ゼロに導くIT 活用事業」による年間購入電力の削減
:実施事業所数 13 社

【東京電力パワーグリッド(株)山梨総支社】

- ◆省エネについて東京電力 HP での情報発信や関係機関などへの情報提供

【生活協同組合パルシステム山梨】

- ◆うちエコ診断の実施 :診断件数 12 件

【甲府市地球温暖化対策地域協議会】

- ◆環境イベント等での普及啓発
環境リサイクルフェア、市民向けセミナー等の実施 :参加数 289 人
- ◆協議会のウェブサイトにおいて、イベント等の情報や活動内容の周知 :サイトへのアクセス数 1,184 件

【山梨県地球温暖化防止活動推進センター】

- ◆全国地球温暖化防止活動推進センターの統一アンケートを各種イベントや教室時に実施
:アンケート調査件数 322 件
- ◆「地球温暖化防止まずはこんなところから」シート等、温暖化防止に関する資料を甲府市内の小学校へ配布 :配布件数 200 件

②緑のカーテンづくりの推進

<本市の取り組み>

- ◆緑あふれるまちづくり(緑のカーテン)の推進
:ゴーヤの苗の配布数 幼稚園等 863 本、小学校 552 本、公共施設 576 本、合計 1,991 本
:「緑のカーテン」づくりセミナー参加者数 99 人
- ◆市立甲府病院の壁や窓、上下水道局本庁舎南側に、ゴーヤによる緑のカーテンを設置

<市民、事業者、NPO の取り組み>

【国母工業団地工業会】

- ◆ぶどうによる緑のカーテンづくりの実施 :参加企業 7 社、カーテン面積 158 m²

【JA 山梨みらい】

- ◆ゴーヤによる緑のカーテンづくりの実施 :設置数 3 店

【甲府市公立小中学校長会】

- ◆学校等における緑のカーテンづくりの実施 :実施数 23 校

【生活協同組合パルシステム山梨】

- ◆事業所での緑のカーテンの実施
:実施数 3 事業所(甲府センター、一宮センター、西桂センター)

【NPO 法人みどりの学校】

- ◆緑のカーテン、屋上緑化、緑化透水性舗装等の啓発活動 :実施数 14 回、参加者数 611 人

【甲府市地球温暖化対策地域協議会】

◆緑のカーテンの普及促進

緑のカーテンセミナーの開催し、参加者へゴーヤ苗を配布

協議会で栽培した苗を学校や公共施設等への配布し緑のカーテンの実践と普及啓発を図る。

:緑のカーテン配布数 2,451 苗

③ 甲府市（事務・事業）の率優先的取組み

<本市の取組み>

◆実行計画(事務事業編)における公共施設等のエネルギー原単位の削減(平成 25 年度基準年度)

:基準年度比 公共施設 △16.0% 公用車 △6.3%

(2) 低炭素型の移動（スマートムーブ）の推進

《取組みの内容》

① エコドライブの推進

<本市の取組み>

◆市職員に対し、安全運転研修においてエコドライブについての啓発を実施 :参加者数 80 人

◆温暖化対策情報サイト「こうふの eco」において、エコドライブの運転方法についての情報提供

<市民、事業者、NPO の取組み>

【NPO 法人みどりの学校】

◆エコドライブの普及啓発活動(各種学習会での情報提供等) :開催数 12 回、参加者数 388 人

② 公共交通機関の利用促進

<本市の取組み>

◆山梨県、バス・鉄道事業者等との協働により、公共交通の利用を促進するためのイベントを開催

:実施数 1 回、来場者数 5,000 人

◆分かりやすい公共交通情報の提供として、市民が便利なバス情報を活用できるやまなしバスコンシェルジュの普及啓発 :キャンペーン数 1 回

◆公共交通に対する地域主体の取組みを支援するため、地区説明会を実施 :実施地区数 4 地区

◆サイクル・アンド・ライドの推進 :駐輪場の設置数 11 施設

◆やまなしエコ通勤トライアルウィークへの参加 :延べ参加者数 858 人

◆「エコ通勤優良事業所認証制度」について、温暖化対策情報サイト「こうふの eco」で周知・普及促進活動 :認定事業所数 3ヶ所

<市民、事業者、NPO の取組み>

【山梨県バス協会(山梨交通株式会社)】

◆山梨県バス総合案内システム「やまなしバスコンシェルジュ」の運営

携帯端末に加えて、甲府駅南口でデジタルサイネージでの情報提供、システムの利便性と認知度の向上を図り路線バスの利用促進に繋げた。:サイトへのアクセス件数 約 35,804(件/月平均)

【生活協同組合パルシステム山梨】

- ◆「エコ通勤奨励制度」において、エコ通勤の実施による CO₂ 削減 : 参加者数 2 人(221.9kg-CO₂削減)

【NPO 法人みどりの学校】

- ◆公共交通利用の情報提供 : 実施数 5 回、参加者数 167 人

【東京電力グループ】

- ◆公共交通機関の利用推奨によるエコ通勤の促進 : エコ通勤率 78.5%

③ 自転車による環境にやさしい移動の推進

<本市の取り組み>

- ◆電動アシスト自転車の貸与による「甲府市レンタサイクル事業」: 貸出台数 2,222 台
- ◆地球温暖化対策情報サイト「こうふの eco」において、甲府市レンタサイクル事業等についての情報提供

アクションプラン 4 の課題

<本市の課題>

- ◆地球温暖化の要因となっている CO₂ の内、通勤や通学等といった移動に伴う排出量が多くを占めている。本市の地域特性からも自家用車は必要不可欠であるが、公共交通機関の利用を推進するなど環境負荷の低い交通手段への転換を更に推進していく必要がある。

<市民・事業者・NPOの課題>

- ◆甲府市が実施している、自家用車で通勤している方に対し、毎週 1 回(原則金曜日)は自家用車以外の方法で通勤することを促す「こうふエコ通勤デー参加協力事業所」へ積極的に参加し、自家用車の利用減少による温室効果ガス排出削減を目指す。

アクションプラン5

賢く、快適な低炭素型都市構造への転換

《環境に配慮した持続可能な都市への転換・都市緑化》

イチオシの取り組み

●企業での高効率機器設置の普及促進【東京ガス山梨株】

《内容》

企業では、近年、環境意識の高まりのなかで、高効率・省エネ機器の導入に関するニーズが高まっています。東京ガス山梨株ではそれらのニーズに積極的に対応しています。

事務所の空調需要に対応するため、電気とガスのハイブリッド空調システム（スマートマルチ）の導入により、空調負荷や外気温に合わせて電気とガスの配分を自動制御することで、トータルのエネルギー使用量が削減されCO₂排出量の削減に寄与します。



スマートマルチ

また、厨房における電気とお湯の需要に対応するため、コージェネレーションシステム（固体酸化物形燃料電池：SOFC）を導入することで、高い発電効率と高温排熱の回収利用により、従来のシステムと比較してCO₂排出量が約半分になります。



固体酸化物形燃料電池
SOFC

《ポイント》

東京ガスグループでは、企業における省エネ・省CO₂のニーズに対応し、技術開発や先進的な機器の提案等を積極的に行っていくことでSDGs等の環境目標の達成に貢献しています。

（1）建物・機器による省エネの推進

《取り組みの内容》

①省エネ住宅・施設等の普及促進

＜本市の取り組み＞

- ◆温暖化対策情報サイト「こうふのeco」において、省エネ住宅等についての情報提供
長期優良住宅新規認定件数：242件(参考)

②省エネ機器の普及促進

<本市の取り組み>

- ◆甲府市地球温暖化対策導入促進助成金制度(令和元年6月30日廃止)
:高効率給湯器等への助成件数 103件(再掲)
- ◆地球温暖化対策情報サイト「こうふのeco」において、省エネ機器についての情報提供

<市民、事業者、NPOの取り組み>

【東京ガス山梨株式会社】

- ◆エコジョーズの導入促進活動によるCO₂削減 :導入台数 249台、CO₂削減量 55.5t-CO₂
- ◆エネファームの導入促進活動によるCO₂削減 :導入台数 4台、CO₂削減量 5.3t-CO₂
- ◆企業での高効率機器設備の普及促進
SDGsやSBT等の環境目標に基づき、高効率・省エネ設備の導入に関するニーズが高まっている中、固定酸化物形燃料電池(SOFC)や電気とガスのハイブリッド空調システム「スマートマルチ」等を企業や県へ導入しCO₂の削減に繋がった。

【甲府市自治会連合会】

- ◆家庭用電池の普及
自治会連合会の会議等で、家庭用蓄電池について周知を図った。

③LED照明の普及促進

<本市の取り組み>

- ◆防犯街路灯のLED化等への補助 :補助灯数 80灯
- ◆商店街団体が維持管理する街路灯のLED化及び電気料への補助
:LED化数 77灯、CO₂削減量 1.3t-CO₂
- ◆甲府市地方卸売市場整備計画における照明設備のLED化
:LED化数 13灯、CO₂削減量 1.33t-CO₂
- ◆都市公園等の照明をLED化に改修(省エネ・グリーン化推進事業)
:LED化数 20灯、CO₂削減量 7.51t-CO₂
- ◆スポーツ施設や学校等の夜間照明(水銀灯)をLED化 :LED化数 889灯、CO₂削減量 229.08t-CO₂
- ◆市立甲府病院内の照明器具をLED化 :LED化数 195灯、CO₂削減量 3.26t-CO₂
- ◆温暖化対策情報サイト「こうふのeco」において、LED照明導入による省エネ効果についての情報提供

(2) 緑あふれるまちづくり(都市緑化・ヒートアイランド対策の推進)

《取り組みの内容》

①都市緑化の推進

<本市の取り組み>

- ◆花いっぱい緑いっぱい運動による「地域緑化」の推進(6種類の花苗の配布)
:配布団体数 125団体、配布株数 102,100株
- ◆緑化教室の開催による「家庭緑化」の推進 :開催数 5回

- ◆自主的な美化活動を行う公園美化活動団体の設立の促進 : 設立団体数 1 団体(計 25 団体)
- ◆生垣設置助成 : 申請件数 0 件
- ◆事業所等の緑化指導 : 助成件数 2 件、面積 260.00 ㎡
- ◆市保存樹木制度による樹木の指定 : 指定本数 10 本
- ◆新築記念としてキンモクセイ・オオムラサキツツジの苗木を配布 : 配布数 10 本

<市民、事業者、NPO の取り組み>

【生活協同組合パルシステム山梨】

- ◆屋上緑化の実施(本部・一宮センター) : 実施事業所数 2 ヶ所

【NPO 法人みどりの学校】

- ◆屋根緑化の情報提供(小学校での学習会、甲府市リサイクルプラザでのワークショップ等)
: 実施数 11 回、参加者数 482 人

②農地の活用

<本市の取り組み>

- ◆荒廃した農地の再生整備
農地の再生利用に向けた機械の貸付による耕作放棄地の解消 : 再生整備面積 7,328 ㎡
- ◆市民農園の貸出
市民農園開発希望者に開設までの法的手続きの等への申請補助
: 開設区画数 0 区画 (小曲市民農園貸出区数 54 区画)

③建物・道路等のヒートアイランド対策の推進

<本市の取り組み>

- ◆透水性舗装の推進によるヒートアイランド対策 : 道路改良工事等 実施面積 700 ㎡

(3) クリーンエネルギー自動車(電気自動車、燃料電池車、プラグインハイブリッド車等)の普及促進

《取り組みの内容》

①クリーンエネルギー自動車の普及促進及び導入検討

<本市の取り組み>

- ◆公用車への電気自動車・燃料自動車の導入
: 保有台数 16 台(電気自動車 7 台、ハイブリッド車 8 台、燃料電池車 1 台)
- ◆リサイクルフェアにおいて、クリーンエネルギー自動車の展示による普及啓発
- ◆甲府市上下水道局公用車への電気自動車の導入 : 導入台数 2 台
- ◆温暖化対策情報サイト「こうふの eco」において、クリーンエネルギー自動車についての情報提供

<市民、事業者、NPO の取り組み>

【国母工業団地工業会】

◆社有車への電気自動車の導入 : 保有台数 3 台 充電スタンド 8 台

【甲府商工会議所】

◆公用車に電気自動車を導入し、PR 活動を実施 : 保有台数 1 台

【山梨交通株式会社】

◆社用車に、燃料電池車を導入し、水素ステーションと併せ PR 活動を実施 : 保有台数 1 台

【東京電力パワーグリッド(株)山梨総支社】

◆EV・PHVならびにV2H(Vehicle to Home)普及促進に向け、イベント等でPRを実施 : 実施数 1 回

② 充電設備、水素ステーションの整備

<本市の取り組み>

◆温暖化対策情報サイト「こうふの eco」において、クリーンエネルギー自動車や充電器設置場所等の情報提供

アクションプラン 5 の課題

<本市の課題>

◆電気自動車等のクリーンエネルギー自動車は、地球温暖化対策として期待されているが、普及は進んでおらず、長距離走行への不安や充電設備の不足等が課題となっている。充電設備等のインフラ整備も含め、普及促進に向けた取組を推進する。

<市民・事業者・NPOの課題>

◆施設への LED 照明の導入や社有車等にクリーンエネルギー自動車等を導入するなど積極的な取組が必要である。

アクションプラン6

持続可能な循環型社会の構築

《廃棄物の再資源化と環境負荷の低減》

イチオシの取り組み

●会員企業による共同リサイクル事業

【協同組合 国母工業団地工業会】

《内容》

協同組出国母工業団地工業会では、会員企業が自ら廃棄物を削減し、削減しても発生する廃棄物について、再利用、再資源化を図る取り組み「ゼロ・エミッション」を推進しています。この取り組みの一環として、各企業から排出される紙類、廃プラスチックや木くずなどの廃棄物を会員企業が一定のルールで分別し、回収することにより、効率的に資源の循環がなされるよう共同リサイクル事業を行っています。



各フロアの回収BOX

《ポイント》

会員企業では、企業活動等で排出される様々な廃棄物を分別回収し、紙類(段ボール、新聞、雑誌、ミックスペーパー、模造紙など)の再利用や、廃プラスチック・木くずの固形燃料化など、再資源化を行う効率的な廃棄物処理システムを構築しています。このシステムにより、会員企業や回収業者の負担軽減を図り、温室効果ガスの排出量削減に努めるとともに環境負荷をできる限り低減することを目指しています。



リサイクルセンター内

(1) 廃棄物の3R (Reduce・Reuse・Recycle) の推進

《取り組みの内容》

① 分別回収によるごみ、生ごみの減量化、再資源化の推進

<本市の取り組み>

- ◆生ごみ処理機購入補助 : 補助件数 66 件
- ◆有価物回収事業 : 自治会への報奨金交付件数 370 件
- ◆資源回収推進事業 : 資源物回収量 2,360.72t

- ◆陶磁器製食器のリユース・リサイクル事業 :陶磁器製食器回収量 8.11t
(リユース:リサイクルフェアにおいて無料配布、リサイクル:再生食器の原材料としている)
- ◆リサイクル推進員制度の活用 :活動延べ人員 6,474 人
- ◆ミックスペーパー分別回収 :回収量 1,536.14t
- ◆使用済み小型電子機器回収 :回収量 6.83t
- ◆容器包装廃棄物(紙箱・紙袋・包装紙)の分別回収 :紙製容器包装類回収量 14t
- ◆プラスチック製容器分別回収
:その他プラスチック製容器包装回収量 735.49t(平成 28 年 12 月から市内全地区の回収を開始)
- ◆分別排出普及啓発チラシを作成・配布 :プラスチック製容器包装分別回収啓発用チラシの配布
- ◆多量排出事業者に対する事業系一般廃棄物削減等の啓発 :減量化等計画書の提出件数 71 社
- ◆中小規模事業者への訪問調査指導 :訪問調査指導数 562 回
- ◆一般廃棄物収集運搬許可業者に対する事業系ごみの適正処理研修会の開催 :開催数 1 回

<市民、事業者、NPO の取り組み>

【国母工業団地工業会】

- ◆会員企業による共同リサイクル事業、紙類(ダンボール、新聞、雑誌、ミックスペーパー、模造紙)の分別回収再利用、廃プラ・木くずの固形燃料化 :紙類回収量 519t 廃プラ・木くず回収量 263t

【甲府商工会議所】

- ◆会員事業所から回収したミックスペーパーを古紙再生品原料(トイレtpーパー等)として利用
:古紙回収量 7.38t

【生活協同組合パルシステム山梨】

- ◆商品包装等の回収の呼びかけ
:容器の回収率
リユースびん[67.2%]、紙(牛乳)パック[73.1%]、ABパック[29.2%]、商品案内(カタログ)[87.1%]、注文用紙[89.0%]、ポリ袋[36.2%]、たまごパック[81.1%]、食材セットトレイ[71.5%]、ペットボトル[60.8%]

【甲府市自治会連合会】

- ◆分別の徹底によるごみの減量化(ミックスペーパー) :ミックスペーパー回収量 1,536.14t

【東京電力パワーグリッド(株)山梨総支社】

- ◆事業場産業廃棄物リサイクルの推進 :リサイクル率 99%

②資源物排出の利便性の向上

<本市の取り組み>

- ◆資源物ステーションの設置
甲府市自治会連合会との連携を継続し、地域の要望に応じて協議調整を行い、整備を進める。
:設置済数 3 箇所

③ バイオマス資源の循環による活用

<本市の取り組み>

- ◆ 下水汚泥焼却灰の再利用 : 焼却灰搬出量 609.2t
- ◆ 家庭で不用になった食用油の分別回収 : 廃食用油回収量 8,660ℓ
- ◆ 生ごみ発酵促進剤 EM ポカシ無料配付 : ポカシ配付実数 22,079 袋
- ◆ しんぶんコンポストキットの無料配付 : 配布数 487 件
- ◆ 剪定枝・落ち葉や廃食用油などのバイオマス資源の活用
自治連合会へ落葉の堆肥化事業の取組の周知
- ◆ 食品ロス対策事業の推進(自校完結型の生ごみ排出ゼロ) : 小学校給食の残菜処分量 5.5t

<市民、事業者、NPO の取り組み>

【国母工業団地工業会】

- ◆ 会員企業内社内食堂より発生する生ごみの堆肥化及び、廃食用油の回収
: 生ごみ発生量 13,850kg (5 社で取り組み) 廃食用油回収量 5,800ℓ (1 社で取り組み)

【生活協同組合パルシステム山梨】

- ◆ 配送時に組合員から廃食用油の回収 : 回収量 2,600ℓ

【NPO 法人みどりの学校】

- ◆ 生ごみの資源化の情報提供
各種学習会において、食品残さの減量、コンポスト、EM ポカシ等の発酵促進剤による生ごみの資源化等についての情報提供 : 実施数 5 回、参加者数 167 人

アクションプラン 6 の課題

<本市の課題>

- ◆ 有価物回収は、地域の皆様による自主的な集団回収であり、自治会の協力のもとに行っているが、自治会によっては高齢化が進み、有価物回収の廃止・縮小などの理由により回収量が減少傾向にある。

地球温暖化への適応策

各分野における適応策の方向性

(1) 健康被害の予防

影響	<p>熱中症による救急搬送患者が増加し、特に高齢者や子どもは重症化のリスクが高まることに加え、マラリヤやデング熱などの感染症の増加等が懸念されます。</p> <p>特に熱中症のリスクは、暑さやのどの渇きに対する感覚が鈍くなり、暑さに対する体の調節機能が低下する高齢者において高くなります。</p>
----	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

《取り組みの内容》

<本市の取り組み>

- ◆市ホームページにおいて熱中症の症状や予防、手当などの情報掲載、また、熱中症予防情報関連サイトへのリンク
- ◆暑さ対策庁内連絡会議の設置
- ◆ポスター掲示、庁舎前大型ビジョン・ラジオによる普及・啓発
- ◆健康増進課、母子保健課等他課の取組に対して資料の提供
- ◆防災無線による注意喚起
- ◆住民の自助・共助を促す普及・啓発
- ◆クールシェアスポットの設置(関係施設の協力)
- ◆広報、ラジオでの注意喚起
- ◆市内の各保育施設、小中学校等へのポスターを使った呼びかけ
- ◆観光客、外国人を対象とした普及・啓発
- ◆イベント時におけるのぼり旗、リーフレット等を活用した普及・啓発
- ◆健康づくりに関わる地区組織等での健康教室の実施
- ◆母子健康手帳発行時と乳幼児健診に、妊婦や乳幼児の保護者への普及・啓発
- ◆透水性舗装の推進によるヒートアイランド対策(再掲) :道路改良工事等 実施面積 700.0 m²
- ◆6月1日～9月30日の夏期期間中に上下水道局1階ロビーを「クールシェアスポット」として開放。
希望者には「甲府の水」を配布

<市民、事業者、NPOの取り組み>

【甲府市公立小中学校長会】

小学校

- ◆職員会議等で養護教諭から、熱中症の症状や予防方法、また手当について資料を使って説明させ、教職員の理解を図る研修を実施した。
- ◆水筒の持参を促すとともに熱中症計を使用して測定し、校内放送で注意を呼びかけた。
状況によっては屋外での体育や遊びなどを控えるよう指導した。

- ◆熱中症予防に関しては校医や教育委員会からの指導をもとに万全を期した。具体的には、1学期の終業式を冷房の効く各教室で行ったり、夏休みのプール開放を、指数に照らして危険がある場合には中止としたりした。
- ◆外で遊べる日か事前に判断し、全校放送で児童に周知した。
- ◆ミスト噴射機を児童玄関周辺に設置し、対策を講じた。
- ◆校舎内に熱中症の原因と予防法についての掲示を行った。
- ◆扇風機とエアコンの適切な併用により、効果的な冷房対策を行った。
- ◆熱中症対策マニュアルを作成し、それに基づいた熱中症予防に取り組むとともに、必要に応じて見直しを行った。
- ◆緊急時の対応について全職員で確認した。また、AED講習を行い、心肺蘇生法を習得するとともに危機管理への意識を高めた。
- ◆保健だよりやHPなどを通して熱中症に対する正しい知識や対策を発信し、保護者への啓発を図った。

中学校

- ◆各自水筒を持たせ水分補給をこまめに行うようにした。また、タンクに麦茶を作り、放課後の部活動に対応した。
- ◆保健の授業で熱中症予防に関する学習や日常的な安全指導を行った。
- ◆熱中症チェッカーで定期的に気温を測定し、WBGTが31度を超えたときには部活動を中止した。また、28度を超えたときや、部活動の時間がいつもより長めに確保できるときには、一斉に休憩する時間をとるよう放送で指示し、併せて水分補給等を行った。
- ◆学校独自でキャップ型の帽子を作成し、全生徒に安価で購入させた。体育の授業や部活動、体育的行事での着用を義務づけ、暑さから守ることができた。

【みどりの学校】

- ◆緑のカーテンの設置をメンバーや地域に呼び掛けて取り組み、熱中症予防に有効であることを、学習会等の折に啓発した。

(2) 自然（水）災害

影響	近年、気候変動の影響による局地的な集中豪雨により、甚大な豪雨・洪水の被害が発生しています。今後も、その頻度が増し、河川洪水の機会が増加することが予測されます。
----	---------------------------------------------------------------------------------

《取り組みの内容》

<本市の取り組み>

- ◆甲府市洪水ハザードマップの説明会を実施し、防災情報の伝達手段や水害時の避難行動などについて説明を行い適切な避難行動ができるよう情報提供を行った。また、防災情報 WEB 内の体感ハザードマップで、新たな洪水ハザードマップが確認できるよう更新を行った。
- ◆温暖化対策情報サイト「こうふの eco」において、世界各地の異常気象などについての情報提供。

<市民、事業者、NPO の取り組み>

【甲府市公立小中学校長会】

小学校

- ◆地域防災マップや地域安全点検マップを作成し、また、引き渡し訓練時に地域の危険箇所を確認するよう保護者にも呼びかけた。
- ◆避難所となったときのマニュアルを作成し、管理職の対応について地域の防災担当と連絡を取るよう努めた。
- ◆大雨、洪水に関する注意報、警報が発令した場合の対応について全職員で確認した。
- ◆危険箇所を保護者や児童に周知するとともに、防災マニュアルの見直しを行い、避難訓練等の計画的実施に向けて検討を始めた。
- ◆台風の後などに、児童が登校する前に教職員で学区を巡回し、危険箇所の有無を確認するとともに、登下校時には教職員が通学路で安全な登下校の見守り指導を行った。
- ◆6年生が着衣泳を体験し、水の事故の危険性や非常時の対応について学んだ。
- ◆甲府市防災WEBを積極的に活用し、災害について幅広く自主的な学習を促すよう学校だよりでも紹介し、保護者への啓発活動を実施した。

中学校

- ◆予覚なし訓練や非常扉を実際に稼働するなど、実践的な要素を加えた訓練を加えた。またシェイクアウト訓練等は、年間の予定よりも回数を増やして実施した。
- ◆年度初めの地区別集会で、地区ごとの下校の際、担当教師も加わって通学路の危険箇所を確認した。
- ◆防災マニュアルを見直し、防災訓練を年4回実施した。防災マップの見直しも行った。

【NPO 法人みどりの学校】

- ◆再生可能エネルギーの体験学習やイベント時に、ソーラークッカー、ウッドガスストーブ、太陽光発電蓄電ライト、手回し発電ライト・ラジオなどは、日常的にも使え、災害時にも役立つことを啓発した。

【やまなしバイオマス協議会】

- ◆含水率の低いすぐに燃やせる薪の備蓄を推進し、災害拠点などに、備蓄の薪と併せて薪ストーブの設置を推奨した。
- ◆地域の間伐材を利用した薪備蓄システムなどの方法を検証し、重要性を見える化し推進を図る。

(3) 水環境・水資源

影響 | 気候変動による渇水や洪水などの水環境・水資源へのリスクが高まります。

《取り組みの内容》

<本市の取り組み>

- ◆甲府市御岳町地内(奥御岳市有林)で市民との協働による植樹活動「水源林植樹の集い」を実施した。
(再掲) 参加者数 391 人、植栽面積 0.30ha、植栽本数 900 本

(4) 食料

影響

コメ、野菜、果樹等の品質低下(巨峰系品種の着色遅延、収穫期や収穫に近い品種の一部で果梗部の褐変、果粒の軟化など)の影響が懸念されます。

<本市の取り組み>

- ◆温暖化対策情報サイト「こうふの eco」において、それぞれの地域で温度変化した場合に潜在的食料生産量が低下するなどの情報提供をした。

(5) 自然生態系

影響

地球温暖化は生物多様性の危機の一つと考えられ、これまで生息していた生物の生息域が変化し、私たちの身近な生活にも影響を及ぼします。

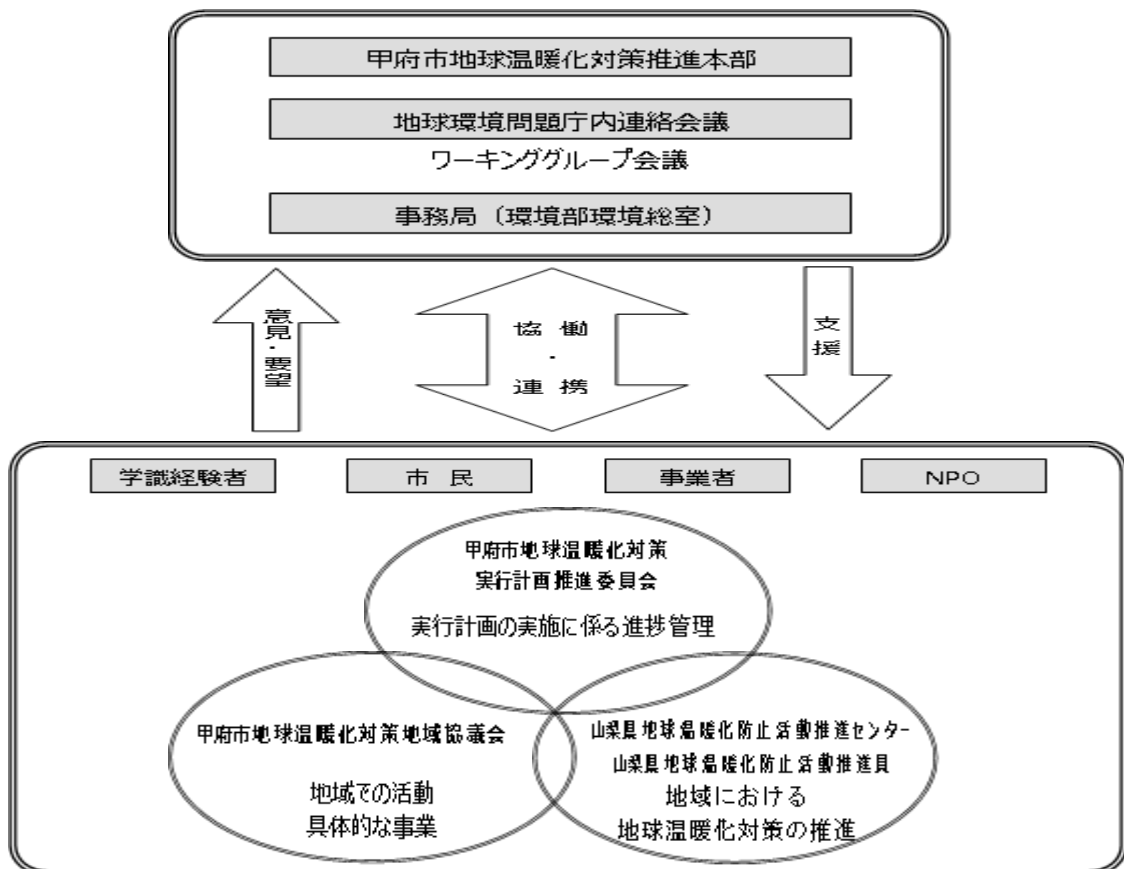
<本市の取り組み>

- ◆温暖化対策情報サイト「こうふの eco」において、気温上昇に応じた生物種の絶滅リスクの増加などの情報提供をした。

第3章 施策の検証

1 実行計画の推進体制

- 本市では、実行計画の推進状況の検証や施策の推進方法について協議を行うため、市民、学識経験者、地元企業、団体、行政等の代表者で組織する「甲府市地球温暖化対策推進委員会」を設置しています。
- 推進委員会は、実行計画の推進に関することや進捗管理に関すること、評価及び見直しに関すること等を所掌しています。
- また、推進委員会には実行計画の専門的な調査、検討を行うための部会を設置しており、部会では、施策の進捗状況について把握し、その結果につき個別評価を行います。
- 部会で個別評価した結果については、推進委員会に付し、全体で再評価を行い、取り組みに遅れがある場合は改善策を検討します。
- 市内においては、実務担当者による「ワーキンググループ会議」、その上部機関として本市の対策を協議する「地球環境問題庁内連絡会議」、さらに地球温暖化対策に関する施策について本市が統一的かつ総合的に推進していくことを目的とした「地球温暖化対策推進本部」があります。
- 市内及び推進委員会において、実行計画の進捗管理を行うことにより、Plan（計画）、Do（実施）、Check（評価）、Act（改善）のPDCAサイクルによる施策の着実な推進を図っています。



甲府市地球温暖化対策実行計画の推進体制

2 甲府市地球温暖化対策実行計画推進委員会からの意見

- 令和元年度の「市の取り組み」及び「市域での取り組み」について、推進委員会からいただいたご意見等をアクションプランごとにまとめました。

全体に対する意見
<ul style="list-style-type: none">■地球温暖化対策には、地球温暖化の原因である温室効果ガスの排出を削減するための取組である「緩和策」と、緩和策に取り組んでも、地球温暖化の影響が避けられない場合、その影響に対して自然や人間社会のあり方を調整していく取組の「適応策」があります。 この「緩和策」と「適応策」の組み合わせることにより相乗効果生まれ、それぞれの取組が更に推進していくと思います。■新型コロナウイルスの影響によりテレワークの導入が進むなど、働き方改革や新しい生活様式が求められている中、それらに適応した新たな温暖化対策について考えていく必要があると感じました。■この委員会は、地球温暖化対策という観点から議論する貴重な場なので、ここで議論した内容を市民、各種団体、行政等に対して提案していく活動も必要だと感じました。
アクションプラン1 環境教育・温暖化防止の啓発活動の推進 《人づくり・地域づくり・協働の推進》
<ul style="list-style-type: none">■子供の頃から、ごみを出さない、電気をこまめに消す等、日常生活の中から地球温暖化対策について意識付けをしていくことは非常に重要だと思います。また、子供達が学校で学んだことを、家に帰って家族と話をすることで、地域や家庭における環境教育にも繋がっていくと思うので、今後も継続した取り組みが必要だと思います。
アクションプラン2 再生可能エネルギーの導入・普及促進 《エネルギーの地産地消・地域エネルギー自給システムの構築》
<ul style="list-style-type: none">■甲府市クリーンエネルギー機器普及助成制度について、家庭用蓄電池は助成対象ですが、電気自動車等についても蓄電池として活用できることから助成対象として検討していただきたい。■固定買取価格制度(改正FIT法)の買取価格の低下により、住宅用太陽光発電システムの導入が鈍化している中、災害時の活用方法について啓発するなどの普及促進のための工夫も必要だと思います。
アクションプラン3 潤いある森林の整備 《森林整備》
<ul style="list-style-type: none">■近年の集中豪雨による氾濫した河川の流木の多さをみると、森林の管理や整備が非常に重要であると感じました。また、地球温暖化対策として森林の持つ役割は非常に大きいので、森林の整備には積極的に取り組んでいただきたいと思います。■「水源林植樹の集い」は、自らが植林をすることで水源を守るという体験を通じ、水源涵養の持つ役割の大切さを学ぶことのできる非常に素晴らしい活動だと思います。自分の手で植樹することは、治山治水から始まり地球温暖化防止までを考える最高の教育現場であるので、将来を担う子供たちの参加を増やしていくことが必要だと思います。

<p>アクションプラン4 地球にやさしいライフスタイルと省エネ行動</p> <p style="text-align: center;">《環境に配慮したライフスタイルと低炭素型の移動への転換》</p> <p>■山梨県バス総合案内システム「やまなしバスコンシェルジュ」についてまだ知らない人が多いので、利便性と認知度の向上、路線バスの利用促進を図ることで、地球温暖化対策に繋がっていくと思います。</p> <p>■「緑のカーテン」づくりセミナーの開催や市内の教育機関、公共施設等にゴーヤの苗の配布より、緑のカーテンづくりの輪が広がってきていると思います。</p>
<p>アクションプラン5 賢く、快適な低炭素型都市構造への転換</p> <p style="text-align: center;">《環境に配慮した持続可能な都市への転換・都市緑化》</p> <p>■企業等においてもLED照明の導入が進んできています。電球の交換だけでも相当な費用が掛るので、LED照明の導入に対する助成などが実施できれば、更に加速していくと思います。</p> <p>■電気自動車は、CO₂を排出しないと同時に災害時の停電の際に蓄電池の代わりに活用できるメリットがあります。電気自動車の普及促進には、充電整備などのインフラ整備が必要不可欠だと思いますが設置や維持に費用がかかるので、充電設備の利用時間の延長などの検討も必要だと思います。</p>
<p>アクションプラン6 持続可能な循環型社会の構築</p> <p style="text-align: center;">《廃棄物の再資源化と環境負荷の低減》</p> <p>■有価物の回収は主に地域の自治会が主となって回収していますが、高齢化が進む中でごみ出しやごみ分別に負担が大きくなっているため、何らかの対応が必要だと思います。</p>

■いただきましたご意見等を踏まえ、実行計画の施策や取り組みを推進していきます。

3 Act（改善）の方向性

■本報告書では、重点プロジェクトである「6つのアクションプラン（緩和策）」と「適応策」に関する令和元年度の施策及び取り組みの実施状況等を取りまとめている。6つのアクションプラン（緩和策）においては、数多くの施策や取り組みが実施されているが、いくつかの項目では未実施や取り組みが進んでいない項目もある。また、6つのアクションプラン（緩和策）に取り組んでも温暖化の影響が避けられない場合、その被害を少なくするための対策である適応策については、既に発生している温暖化の影響や温暖化の進行による中長期的な変化を踏まえる中で計画的に取り組むを進めていくことが必要である。これらの取り組みについては、それぞれの状況や課題等の解決に向け、地域の特性や実情を踏まえることで、より実効性を持たせ、温室効果ガス削減への取り組み強化を図っていく。また、本報告書の情報提供方法についても検討し、取り組み状況や実施方法などがより多くの人へ更に周知されるよう、市民、事業者等への情報提供、共有についても推進していく。

【資料（1）】甲府市地球温暖化対策実行計画推進委員会の委員名簿

（委嘱期間：令和2年12月26日～令和4年12月25日）

代表区分	氏名	所属
学識経験者	〈委員長〉 鈴木嘉彦	山梨大学名誉教授
	〈副委員長〉 箕浦一哉	公立大学法人山梨県立大学教授
	中澤一郎	山梨県森林環境部環境・エネルギー課長
地域関係者	市川房雄	山梨みらい農業協同組合 総務部長
	米山敏彦	中央森林組合 代表理事組合長
	中込良夫	協同組合 国母工業団地工業会 専務理事
	諸平あゆみ	甲府商工会議所 環境問題委員会 副委員長
	望月真	山梨交通㈱ 執行役員 管理事業部長兼経営管理室長
エネルギー供給者	安藤雅章	東京電力パワーグリッド㈱山梨総支社 甲府事務所次長
	大石公太	東京ガス山梨㈱ 取締役 企画総務部長
教育関係者	石井敬	甲府市公立小中学校長会 甲府市立南西中学校長
市民団体	梅原隆子	生活協同組合パルシステム山梨 理事長
	芦澤公子	特定非営利活動法人みどりの学校 理事長
	石井迪男	甲府市地球温暖化対策地域協議会 副会長
	鳥屋尾健	山梨県地球温暖化防止活動推進センター 事務局長 (公益財団法人キープ協会 環境教育事業部長)
	志澤美香	やまなし木質バイオマス協議会 事務局
市民代表	高添裕一	甲府市自治会連合会 理事

【資料（2）】

平成28年度からの重点プロジェクト（6つのアクションプランと適応策）

重点プロジェクト			
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">人づくり・地域づくり（サステイナブルな社会の創造）・日々の暮らし（スマートライフ）</p>	<p>アクションプラン1</p> <p>環境教育・温暖化防止の啓発活動の推進 《人づくり・地域づくり・協働の推進》 （環境教育・生涯学習・協働）</p>	<p>1. 環境教育の推進 2. 多様な担い手による地域の温暖化防止活動の推進 （産学官民協働の推進）</p>	<p>緩和策（6つのアクションプラン）</p>
	<p>アクションプラン2</p> <p>再生可能エネルギーの導入・普及促進 《エネルギーの地産地消・地域エネルギー自給システムの構築》 （再生可能エネルギーの導入）</p>	<p>1. 太陽エネルギーの活用 2. バイオマスエネルギーの活用 3. 地中熱・小水力等再生可能エネルギーの活用</p>	
	<p>アクションプラン3</p> <p>潤いある森林の整備 《森林整備》 （森林の整備）</p>	<p>1. 潤いと光あふれる森づくり （森林整備）</p>	
	<p>アクションプラン4</p> <p>地球にやさしいライフスタイルと省エネ行動 《環境に配慮したライフスタイルと低炭素型の移動への転換》 （ライフスタイルの転換）</p>	<p>1. 省エネ行動の普及促進 2. 低炭素型の移動（スマートムーブ）の推進</p>	
	<p>アクションプラン5</p> <p>賢く、快適な低炭素型都市構造への転換 《環境に配慮した持続可能な都市への転換・都市緑化》 （低炭素な都市への転換・緑化の推進）</p>	<p>1. 建物・機器による省エネの推進 2. 緑あふれるまちづくり （都市緑化・ヒートアイランド対策の推進） 3. クリーンエネルギー自動車の普及促進</p>	
	<p>アクションプラン6</p> <p>持続可能な循環型社会の構築 《廃棄物の再資源化と環境負荷の低減》 （持続可能な社会の形成）</p>	<p>1. 廃棄物の3R（Reduce・Reuse・Recycle）の推進</p>	
	<p>地球温暖化への適応策</p>	<p>1. 健康被害の予防 2. 自然（水）災害 3. 水環境・水資源 4. 食料 5. 自然生態系</p>	

※サステイナブルな社会『持続可能な社会』

甲府市地球温暖化対策実行計画
令和元年度年次報告書

編集・発行/甲府市環境部環境総室環境保全課

〒400-0831 山梨県甲府市上町 601-4
TEL055-241-4312 FAX055-241-6190

甲府市ホームページ

<http://www.city.kofu.yamanashi.jp>

甲府市温暖化対策情報サイト「こうふのeco」

<http://www.city.kofu.yamanashi.jp/smartcity/>